

交流ハイク 2015・玉原高原（迦葉山～ 尼ヶ禿山、鹿俣山）ペンション「ティータイム」泊

斉藤整紀

- 平成 27 年 10 月 31 日～11 月 1 日
- メンバー 西正子(CL)・島崎・横堀・
西明彦・斎藤亘・井上・太田・白井・
嶋田・斉藤整紀・(土棚)、計 11 名

【敬称、略】

- コース 【10 月 31 日(土)】

9:13 沼田駅 9:30 (タクシー) ⇒ 10:10
弥勒寺 → 11:15～30 迦葉山 (1322m) →
13:35 尼ヶ禿山 (1466m) → 15:00 玉原
湖ダムサイト → 15:30 ペンション「Tea Time」(泊)

【11 月 1 日(日)】

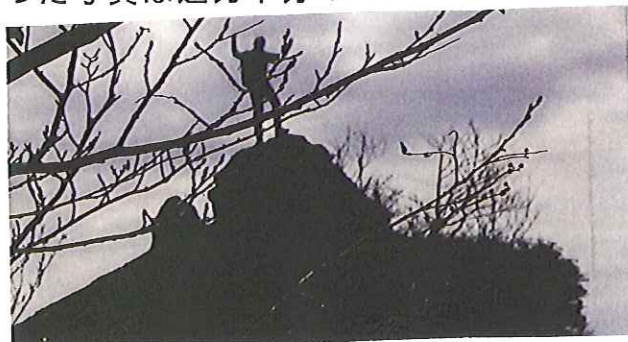
宿 8:00 → 9:45 鹿俣山 (1637m) → 11:
30～12:20 玉原湿原 → 13:00 ラベンダーパ
ーク 13:58 (バス) ⇒ 15:00 沼田駅

10 月 31 日(土) 晴れのち曇り

1 名遅刻、10 人でタクシー 2 台に分乗、
沼田駅を出発。天気はまずまずだが、風
が冷たい。谷川連峰は朝方の新雪が融け、
頂上に雲が掛かってきた。河岸段丘の底
から上がって、武尊山方面へ北上。かな
り車道を上り、迦葉山弥勒寺入口で下車。
まず天狗信仰で有名な弥勒寺を参拝。天
狗面が大きい！



寺を出ると、いきなり陰しい岩場や鎖
場の径が続く。極みが和尚台という岩峰
で、白井氏が一人チャレンジ。岩上に乗
った写真は迫力十分！



一旦、尾根に上って迦葉山山頂で休憩
後は、ブナ林などの緩やかな径に変わる。
尼ヶ禿山に着くころから、午後の日差し
も失せて、風が一層冷たくなってきた。
やむなく休憩もそこそこに下山に向かう。

玉原湖の反対側の目指すペンションへ
辿るルートは、左右回どちら廻りも距離
が長い。湖畔周遊道路は、ダムサイト経
由で歩いたが、舗装道路のため膝に来る。
夕方、少し時雨れた頃に宿泊予約の赤い
屋根のペンションに到着した。計 24 千歩。

宴会が始まる前、事務局が、会員の山
行参加数を発表。1 月から 10 月まで例会
発表分で、正子さんが 24 回でトップ、次
いで明彦・白井両氏が 20 回、更に亘氏、
整紀の順。続いて会旗を使った記念撮影。
次いで夕食は本格的な洋食で、質、量と
も充実し、ワインによく合う。



11月1日（日）晴れ

朝から好天で、風も無く温かい。ペンション前、会旗を前に記念撮影の後、島崎・太田2氏が帰り、会長が加わって、今日は9名編成となった。ペンション前の鹿俣山の道標に従い、景色を眺めながら緩やかな尾根を登る。紅葉は、中腹は未だ綺麗である。谷川連峰や武尊山は朝方雪が見られたが、9時過ぎにはすっかり溶けて、元の色に戻っている。遠く富士山や南ア連峰、八ヶ岳も望まれる。霊峰の天に聳える雄姿はカメラには遠く、小さい。登山路はスキー場近くで、良く整備されている。鹿俣山山頂でも会旗を張って記念撮影。武尊山の剣ヶ峰が近い。



途中、上越国境から尾瀬方面への展望を楽しみながら下った。玉原高原はブナ平などブナ林が見事である。たおやかに続く尾根上、葉を落した青白い幹が柔らかい日差しに映える。



更に下って、玉原湿原は、小尾瀬の異名通り、面積は、数ヘクタール程度にすぎないが、葎簀や背の低い草花の草黄葉が黄金色に輝き、夏期シーズン中の花盛りが偲ばれる。



木道の一部に、作りたての物見台があったのを幸いに、晩秋の晴天下、時間に余裕があり、諸々語りながら、贅沢な時を楽しんだ。交流ハイクの醍醐味か！

ペンション集落入口のラベンダーパークバス停は、今日からスキー場リフト乗り場に移ったため、広大な敷地内で、銘々寛いだ格好でバスを待った。ぐるっと武尊山や赤城山、浅間山が望まれる。

スキー場に面したラベンダー畑は、5万株で関東一のスケールとか。北海道の富良野とは比べようもないが、夏のシーズン中に一度は訪れたいものである。

沼田駅まではバスで約1時間、リンゴ「新世界」を土産に、各駅停車の電車で帰宅、夜7時前に到着した。計23千歩。

幹事西正子さんが、目白山岳会年間一の企画とて、ご夫妻での下見や諸手続きにお骨折り頂いたお蔭で、楽しいハイクができたことに感謝！立派な食事にビール、上等なワイン、お弁当付の宿泊代が1万円とは！大満足であった。（了）